

トーキョーNOVA THE AXLERATION シナリオ『ようこそトーキョーNOVAへ!』

プレアクト

本アクトの目的

本アクトは、トーキョーN
◎VAに全く触れたことのないプレイヤーに、プレロードであるクイックスタートを用いてもらって、トーキョーN◎VAのプレイ体験を一通りしてもらおうということよ、RL初心者様が初めに手に取れるシナリオであることを目指している。

このため、熟練したPLには全く不向きなものであることを了承頂きたい。一方、熟練したRLであれば、本アクトの構成・進行を下書きにして、トーキョーN◎VAの世界をより緻密に描き出すことができると思うので、初心者への勧誘に使っていただきたい。

■ シナリオデータ

▼ プレイヤー人数

1～2人

▼ 想定プレイ時間

1～1.5時間

▼ シナリオタグ

チュートリアル、メタ視点、基本ルールブックのみでOK

● シナリオレギュレーション

本シナリオの想定レギュレーションを以下に記載する。

ただし、使用するデータの変更やRLが調整を行った場合、改めてレギュレーションを提示すること。

▼ 使用経験点

0点

▼ 達成値制限

なし

▼ スタイル制限

このアクトはサンプルキャラクターの使用を念頭に置いている。指定されていないサンプルキャラクターや、キャストの持ち込みをする場合はそのことを考慮すること。

■ アクトトレーラー

N◎VAで生きる探偵と、探偵に持ちつ持たれつで食っているフリーのハッカー

よくある2人、よくある生き様。

でも、実際どうやって動いているんだろう？

今日は、とある探偵事務所に来たちよつとした事件

それを通して、君たちにトーキョーN◎VAの世界を垣間見せることにしよう

トーキョーN◎VA THE AXLERATION
『ようこそトーキョーN◎VAへ!』

かくて運命の扉は開かれた…

■ キャスト作成

本アクトは、事前作成したキャストでの運用を考慮していない。クイックスタートのキャストの使用を強く推奨する。

PLが強く希望して、RLが許可するのならば、特段問題が起こるわけではないが、本アクトの趣旨（初心者へのチュートリアル）を踏まえて行動するとよいだろう（後述の「●特記事項」を参考すること）。

● クイックスタート

本シナリオでは、以下のクイックスタートキャストを使用することを想定している。

また、基本ルールブックの範疇でルールを取めるため、『HDB』でアップデートされたデータを使うことも推奨しない。

『① フェイト』：不屈の探偵

(『TNX』 p82)

『② ニューロ』：ニューロキッズ

(『TNX』 p98)

● 特記事項

本アクトでは、トーキョーN◎VAを初めて遊ぶプレイヤー、ないしはプレイ回数が少ない、ルールブックをまだ所持していないプレイヤーを想定し、数回N◎VAをプレイして、判定等のルールにある程度の理解がある、基本ルールブックを所持したRLによりプレイされることを想定している。

注釈を多く配し、また行動宣言については「メタ発言ギャグ」という形で随所に織り込んであるので、RLの経験がない、あるいは浅い場合でも、プレイしやすいように記述してある。

また、本アクトの導入はそれぞれ基本ルール付属のアクト2本に対応した導入がある。本アクトを前日談的に活用することで、よりN◎VAに慣れた状態で、より本格的なN◎VAのアクトをプレイできるように配慮してある。

● 必要な神業

本アクトではクイックスタートのキャストに合わせ《真実》《電脳神》に使い所を示唆する場面がある。また、『黄泉還り』《タイムリー》などの敵ゲストの神業で即死するのを免れる神業（防御系神業）を2つ使用できれば、ゲストの神業のみでキャストが死亡する

ことはない。クイックスタートで指定しているキャストの残りの1つの神業は、想定がないのでPLは自由に使用できる。

● 主に使用する技能

本シナリオの情報収集で主に使用する技能はアクト中でメタ発言として示唆される。

N◎VAクルードルール

基本ルールブックにルールの記述のないN◎VAクルードルールについては、本アクトで対応しない。

■ キャスト間コネクション

キャスト2人でアクトをプレイする場合、キャスト2人は相互に相手への〈コネ〉技能を取得する。ルールブックの記述（『TNX』 p127）に従ってスートを決めること。

■ ストーリー

『① フェイト』の元に、女子大生が依頼に来た。研究データやその他重要情報が入った情報端末（タップ）を盗まれたので、速やかに取り戻したい、という話であった。

幸い、IANUSの短時間記録装置に犯人らしき人物の画像も残っている。

『① フェイト』とその相棒の『② ニューロ』は、その人物の情報をリサーチし、犯人からタップを取り戻すべく動き出す。

ストーリー

この部分はRLが概要を把握するために記述されている。間違っても読み上げないように

タップ

『TNX』 p32のハシラ参照。タップは大学の情報系学部のような専門線の高い分野でも利用されている。

■ クライマックスの条件

タップを盗んだ”チュートリアル”の”ヤスのアドレス（居場所）を入手し、その場所に向かえばクライマックスフェイズに移行する。

コネ：長谷部万里

ハンドアウト文には出てこないが、アクト中に出てくるゲストである。パーソナリティについては『TNX』 p69に掲載されているので、プレイヤーに見せておくといじらう

アクトハンドアウト

各キャストには以下のような設定がつく

『① フェイト』：フリーランスの探偵

『② ニューロ』：フリーランスのハッカー

『① フェイト』用ハンドアウト

コネ：長谷部万里

推奨スート：【ダイヤ】

キミはN◎VAアサクサに事務所を構えるフリーランスの探偵だ。今日は仕事が入ってなくて、『② ニューロ』と彼のコネのカーロスと雑談に興じていたのだが、慌てた風の依頼人が事務所に飛び込んできた。

なんでも重要なデータの入ったタップを盗まれてしまったらしい。そいつは大変だ。

【PS：依頼を果たす】

『② ニューロ』用ハンドアウト

コネ：カーロス

推奨スート：【ダイヤ】

キミはフリーランスのハッカーで、『① フェイト』に頼まれて力を貸したり、逆に必要ときに頼ったりするような、そんな関係だ。今日は暇なので事務所で友人のカーロスと雑談をして暇つぶしをしていたところ、事務所に客が入ってきた。どうやらタップ、キミの専門とする情報機器に関する仕事らしい。どうせ暇なのだから手伝ってやろう。

【PS：『① フェイト』の仕事を手伝う】

オープニングフェイズ

● オープニング：事務所にて

シーンプレイヤー：『① フェイト』

登場：全員登場

◆ 解説

『① フェイト』と『② ニューロ』と、コネのカーロスの3人は、探偵事務所で依頼もなく退屈しているところに、慌てている風の女子大生が駆け込んでくる。

彼女は大学の研究データその他の入った情報端末（タップ）を盗まれてしまい、早急に探して、取り戻してほしいという依頼をする。

本来なら警察の領分ではあるのだが、ニューロエイジの警察企業の働きは決して迅速でも、信頼できるものでもないため、彼女は迅速に依頼を達成してくれる探偵を頼ることにしたのだ。

彼女は依頼の着手金として、まず手元にあった金額で依頼をしてくる。依頼が成立したら、達成報酬になる金銭をなんとかして用意するので、なんとか受けてほしいと懇願してくる。

◆ 描写

『① フェイト』の事務所、『② ニューロ』とコネのカーロスが雑談している。一応業務時間中ということではあるが、部外者のカーロスが長々と火星の話をするのが退屈でないくらいに暇ではある。

そこに、血相を変えた女学生といった感じの人物がドアを乱暴に叩いて入ってきた。どうやら客のようだ。相当慌てているのが見て取れる。

依頼者は『① フェイト』の方に向き直ると、緊急の依頼をしたいと言ってきた。

依頼の内容の大筋は、N◎VAアサクサでちょっと買い食いをしているところで、男に肩をぶつけてら困縁をつけられたのだが、そのスキにどうも自分の携帯端末（タップ）を盗まれてしまったらしいというものだ。

端末には未公開の最新の研究論文もあるし、ハッカーの手に流れてしまえば大学のシステムに侵入する踏み台にされてしまう。できるだけ早く取り返す必要があるため、警察ではなく探偵を頼った、ということらしい。

幸い、体内に埋め込んであるIANUSの視覚情報メモリーから、その時の様子が不鮮明ながら残すことに成功しているため、依頼人は自身のポケットロンにダウンロードしたその場面の動画を見せてくれる。

▼ セリフ：エリカ

「・・・えーと、ここ、たたた、探偵事務所ですよね。・・・探偵の方は、どなたでしょう？」

「あの、その、物探しの依頼で、すぐ取り掛かってほしいことがあるんですけど、お願いできますでしょうか？」

「じ、実はちょっと怖い人に、自分のタップを盗まれてしまったらしくて…取り戻してほしいんです」

「その場面の動画、IANUSで撮ってたので、ポケットロンにダウンロードしてあるんです。これなんですけど・・・見てくれませんか？」

（動画を再生する。人混みの中でチンピラ風の男がわざとらしくぶつかるシーン）

▼ セリフ：チンピラ風の男（“チュートリアル”の“ヤス”）

「おいテメー何ぶつかってんだッコラー」

「ぶつかったらアヤマルのが礼儀だってママに教わらなかったのかッコラー」

「俺のこと誰だかわかっているのかッコラー お前調べたかったらきちんとリサーチをするんだッコラー」

▼ セリフ：エリカ

（動画再生が終了する）

「…こんな感じで凄まれて、その直後に私のWiZ-V（タップ）がなくなってることに気がついて…きっと凄んでるスキにすり取られたんだと思うんです…」

「お金はすぐに大金、というわけにはいきませ

IANUSで撮ってた

ルールブックには記述はないが、少なくとも本アクトにおいては、2分程度の視覚情報を現代のドライブレコーダーのように記録できる機能がIANUSにある、とすること。



んが、なんとか親とか教授とかに話して工面してもらって、きつとお支払います！」
「お願いします！ 大事な研究成果とか、大学のアクセスキーとか入ってるんです！ 探してください！」

◆ 結末

彼女はまずなんとかして1シルバー（報酬点1点）は今出せる、そこから先はすぐには用意できないが、2シルバー（報酬点2点）くらいならなんとかするという。報酬の基準

としては低い、低すぎるというほどではない。
君たちは依頼を受けることにして、依頼人を安堵させた。

リサーチフェイズ

● イベント1：How to research

条件：リサーチフェイズの最初のシーン

シーンプレイヤー：『② ニューロ』

登場：全員登場

◆ 解説

依頼人のエリカが金策しに去ったあと、『① フェイト』と『② ニューロ』とゲストのカーロスが事務所に残っている。

カーロスは情報の調べ方について、一通りのアプローチを提示して、キャストたちに行動を促す。

キャストたちはそれぞれの思いつく方法でリサーチフェイズの判定をし、依頼を果たすべく行動を開始する。

◆ 描写

依頼人のエリカは「とりあえずお金の工面とか、色々自分で始末できるところをやりますので」と言って事務所を出ていった。

彼女のポケットロンのアドレスはもらったので、必要であれば連絡はできる。次に連絡をするのは彼女のタップを取り戻したときだろう。

後にはキャストたち2人と、ゲストのカーロスが残っている。

カーロスはテーブルの上のコーヒーを一口飲んでから、話し始めた。

▼ セリフ：カーロス

「さて『① フェイト』のお手並み拝見といこうか。」

「お前たちの前には【チンピラ風の男】というキーワードがある。お前さんたちはこのキーワードについて調べることになる。」

「次に手段だ。手段によって使える技能は違

う。自分の足で聞き込みなり何なりして、この男の情報を知りたければ〈社会：ストーリー〉の技能で判定することになる。」

「判定は、判定したい技能の塗つぶしてあるスーツと同じスーツのカードを出せばいい。スーツに対応する能力値と、カードの数字を足して、達成値を求める。達成値は「どのくらいうまく行ったのか」の目安になる。必要な達成値は情報項目ごとに違う。聞けば教えてくれるもんだが、そのうち感覚でわかる。」
「知ってそうな誰かに当たるとか、別の誰かに探させたいなら〈コネ〉だ。ここに俺がいるから、この場合は〈コネ：カーロス〉でいい。」

「俺を動かしたいなら、目の前にいる俺と〈交渉〉してもいい。何、お前が調べたように思えない？ 判定したのは『① フェイト』、お前だ。だからお前が調べたことになるんだよ。」

「2人で同じことを調べてもいいが、あんまり効率はよくない。まあ2人でやれば片方が失敗してもいい、ということもできる。新しい情報が出てくるのを待って、その情報を2人目が調べてもいい。そこはお前たちの腕の見せ所だろう」

◆ 処理

キャストにキーワード【チンピラ風の男】についてのリサーチ判定をさせること。

1人が成功すればいいので、2人目は失敗してカードを回してもいい。

をあるいは、片方のキャストがリサーチを行い、その結果出てくるであろう新しいキーワードについてリサーチをする、という形でもいい。

判定の回数は、1シーンあたり各キャスト1回を目安とするといいだろう。

報酬額について

報酬の相場はプレイグループの感覚によるところもあるが、通常の依頼で着手金が1シルバーというのは十分であるともそうでない金額とも、どちらにも取ることができる。

ロールプレイのネタとして「少ないが受ける」とカッコつけるもよし、貧乏探偵が「カツカツなのでこれでも十分ありがたい」と言うもよしである。

（特にULアクトでは）報酬点を使ってまで達成値を出さなければならない、というケースはないので、報酬云々のやり取りはフレーバーの部分が大きい。そのため、額についてはRLのやりやすいように調整して構わない。

なお、報酬点はポストアクトを越えて持ち越すことはできない（『TNX』p133）。

エリカのその後

エリカはこれ以後、エンディングまでアクトに登場しない。また、（キャストの故意以外の理由で）彼女の安全がデータ的に脅かされることはない。このことはプレイヤーに「彼女の安全についてはこのアクトで特に気遣うべき項目ではない」と素直に告げてよい。

判定回数を目安

理論上は、リサーチに失敗し続ければ無限に手札を良くすることができるが、過度の手札回しは推奨されるものではない。RLは釘をさすように。

◆ 結末

君たちは【チンピラ風の男】についての情報を収集して、彼がなんと呼ばれている人物なのかを知ることができた。

もちろん、それだけでは話は済まない。彼についてもっと深く調査をする必要がある。

君たちはリサーチの方法をもう知っている。本腰を上げて調査をすることができるのだ。

イベント2

条件に注意。このシーンはイベント1の続きではない。

● イベント2：悪徳警官

条件：【“チュートリアル”のヤス】についてリサーチをし、長谷部万力に会いに行った

シーンプレイヤー：『① フェイト』

登場：〈社会：ストリート〉10

SR：イエロー

◆ 解説

長谷部万力と会う場所は比較的プレイヤーの自由に設定できる。彼は主にストリートで弱者から犯罪を見逃す見返りに小金をもらったり、顔役から犯罪をもみ消すように依頼されたりするのが日課なので、N◎VAアサクサのようなストリートで彼を捕まえるのがよいだろう。

シーンの目的は、“チュートリアル”のヤスの居場所を吐かせることである。彼は神業《不可触》を使って、隠れ家の場所を秘匿しているいるので、こちらも神業を使って打ち消す必要がある。そのために彼に便宜を図った長谷部万力に《真実》の神業を使い、長谷部万力の口から“チュートリアル”のヤスの居場所を話させるという展開でストーリーを展開することを想定している。

以下の描写は、想定されるシチュエーションに合わせたものである。実際のプレイヤーの希望があるなら、それに合わせるようにするとよいだろう。

会うことは容易である

『① フェイト』に〈コネ：長谷部万力〉を与えている理由である。RLはキャストに「キミは知り合いなので、簡単に連絡をつけて会いに行くことができる。会いに行けばアクトが進行する」ということを素直に告げてよい（『TNX』p132）
 「▼人に会う」の解釈を使っている。PLが自発的に会いに行こうとするならばそれを賞賛し、ポストアクトの「RLのストーリー進行を助けた」のチェックをつけさせるべきだろう。

◆ 描写

ストリートの片隅で、長谷部万力がいつもの「仕事」に精を出していた。パトロールと称してはストリートのあちこちでみみっちく小金を稼ぎ、あるいは犯罪組織の構成員の御用聞きをやっている、そんな場面だ。

頃合いを見計らって、キャストたちは万力に声をかけた。こいつが“チュートリアル”のヤスに隠れ家の便宜を図ったという情報

は信頼できる情報源から明らかな事実である。依頼を果たすにはなんとしても彼の口から真実を吐かせる必要がある。

▼ セリフ：長谷部万力

「(万力がキャストに気がつく) フヒツ!？」

「『① フェイト』ちゃんじゃないのよ!

な、何の用よ!」

「(“チュートリアル”のヤスについて話す)

そ、そんなチンピラがどうしたってのよ!

アタシが便宜図ったなんてなんか証拠あるの!？」

「《真実》を使い、演出を行う) わ、わかったわよお… どうせあいつ暴力的で金も渋るし、そろそろどうでもいいかなって思ったところだし… (アドレスを渡す)」

◆ 結末

万力はキャストたちに気圧されてその場へたり込む。

キャストたちが得られた“チュートリアル”のヤスの居場所のアドレスに移動したら、クライマックスフェイズに移行すること。

■ 情報項目

リサーチフェイズ開始時に調べることができる情報項目は以下のとおり。

全員共通：【チンピラ風の男】

【チンピラ風の男】

〈社会：ストリート〉、適切な〈コネ〉など
 8 ストリートでよく見かけるチンピラだ。彼らは総称して「レッガー」と呼ばれる(ペルソナスタイルが「レッガー◎」のゲストである)。

12 この男の名前は【“チュートリアル”のヤス】というレッガーである。

【“チュートリアル”のヤス】

〈社会：ストリート〉、適切な〈コネ〉など

10 アサクサでスリをしているチンピラである。

13 彼はSSSの悪徳刑事、長谷部万力に小金を渡して犯罪を見逃してもらい、かつ隠れ家の提供もしてもらっているようだ。彼を正義感に目覚めさせるのは難しいかもしれないが、直接会って彼の口から《真実》を話してもらい、隠れ家の場所を聞くことはできるだろう。彼との〈コネ〉技能を持っていれば、彼に会うことは容易である。

クライマックスフェイズ

● ヤスの隠れ家

◆ 解説

長谷部万力から教えてもらったアドレスに行き、盗まれたタップを“チュートリアル”ヤスから取り戻すシーンである。

彼らはまさにタップのプロテクトを破って、内部の情報を抜き取ろうとしているところであった。

ヤスの仲間のニューロである“電腦使いの”ディーは《電腦神》を使い、データを抜き出すようとしている。

キャストたちの侵入に気がつくと、ヤスとディーは実力行使でキャストたちを排除しようとする。

カット進行に入ること。

なお、キャストが『① フェイト』1人であった場合、“電腦使いの”ディーはエキストラとし、戦闘に参加せず、《電腦神》を含む全ての神業を使用しないものとして扱う。

◆ 描写

長谷部万力から教えてもらったアドレスは、廃工場であった。事務室であったあたりはかろうじて構造が残っており、人間が寝泊まりするくらいはできる程度はできそうだった。

そこから明かりが漏れ、男2人の声が聞こえる。片方の声は依頼人の映像でも聞いた“チュートリアル”ヤスの声である。

▼ セリフ：“チュートリアル”ヤス

「おいテメーこのタップの情報まだ抜き出せないのかッカラー」

「(キャストたちの侵入に気がつく) 誰だテメーッカラー」

「今俺の手元にあるものは俺のもんだってカラー 取れるもんなら実力で取りに来いってんだッカラー」

▼ セリフ：“電腦使いの”ディー

(キャスト2人の場合)

「だ、大丈夫なんだな。僕の《電腦神》を使えばこんなセキュリティ、他に《電腦神》を使って邪魔するヤツがいなければ簡単に抜けるんだな」

「(『② ニューロ』に《電腦神》を使って打ち消された)！ 僕と同じウィザード級のニューロが邪魔をしてきやがったんだな。邪魔するとか許せないんだな。」

(キャスト1人の場合)

「や、ヤスは人使いが荒いんだな、もう少し時間がかかるんだな (タップとにらめっこしてあれこれ操作している)。」

《電腦神》を止めない場合

ルー尔的な効果は特に想定していないが、エリカの個人情報や彼女の関わっている研究のデータ、大学のトロンへのアクセスするための情報等が世間に流出する。この《電腦神》が防がない場合、彼女が社会ダメージの[抹殺]を受けたものとして扱い、エンディングの演出を適宜変更すること。

◆ カット進行

キャストたちは全員で1エンゲージ、そこから[近距離]に“チュートリアル”ヤスと“電腦使いの”ディーがいる。

キャストが『① フェイト』1人だった場合、“電腦使いの”ディーはエキストラになり、戦闘に参加せず、神業も使うことはない。

◆ 結末

ゲストが2人とも戦闘不能になった時点でカット進行は終了し、シーンを変えてエンディングフェイズに移行する。

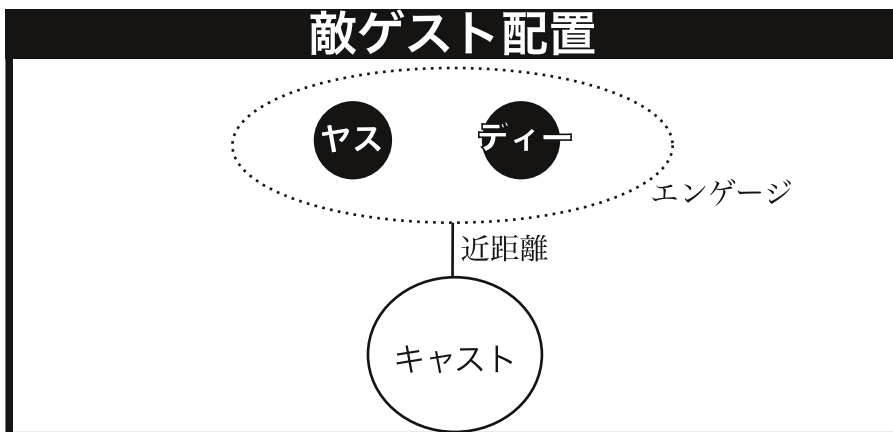
描写

セリフは各キャラクター別に書いてあるが、実際は2人は交互に話している、演出時には注意すること。

タップを取り戻す

ゲストを倒せばタップは無事に取り戻せる。ディーの《電腦神》を打ち消していれば、データの流出も一切起こっていない状態である。

敵ゲスト配置



エンディングフェイズ

■ エンディング

3報酬点

ポストアクト時になくなるので、プレーヤーの意味合いが強い。

タップを取り返し、依頼人に返せばアクトは終了だ。依頼人はほうぼうに頭を下げて直面した3シルバー（3報酬点）を後金として渡してくれる。

▼ セリフ：エリカ

「あ、ありがとうございます！ なんてお礼を行ったらいいのか…」
「これは後金です・・・しばらくは贅沢で

きないし、バイトも頑張らないといけませんが、身から出た錆の部分もありますし、しょうがないですよ〜」

◆ 結末

依頼人のエリカはそう言って、事務所を後にした。とりあえずキャストは仕事を終え、報酬を手にした。キャスト同士で短い演出をするなりして、アクトを終了しよう。

敵ゲストデータ

● "チュートリアル"の"ヤス
レッガー◎●、カブト、カゲ

▼ 設定

「邪魔するヤツには容赦しないんだっコラー」
N◎VAのストリートにいるチンピラ。顔は怖く、威嚇的な喋り方がをするが妙に説明口調なところがある。

▼ 神業

■ 不可触 □ 難攻不落 □ 不可知

▼ 能力値／制御値

理性：7／12 感情：3／13
生命：7／13 外界：4／10

▼ 戦闘データ

【CS】8 【AR】1
【防御力】S：1／P：1／I：2

▼ 一般技能

3♠♣♥♦★ 白兵
3♠♣♥♦★ 回避

▼ スタイル技能

1♠♣♥♦ 鉄砲玉（『TNX』p212）
1♠♣♥♦† 自動防御（『TNX』p191）
1♠♣♥♦† 死点撃ち（『TNX』p209）

▼ アウトフィット

・旋風棍 電制：12 隠：6／-1
（『TNX』p232）
片手持ちのトンファー
・アーマージャケット 電制：12 隠：
12／±0（『TNX』p238）
ジャケット風の防具。
・アサルトナブス 電制：16／隠：20
／0（『TNX』p240）
物理攻撃で与える肉体ダメージを+2

▼ 戦闘プラン

「セットアップフェイズは俺も相棒のディーも何もしないんだっコラー」
「俺のCSは8、ディーのCSは7なんだっコラー」
「行動順番はCSの高い順に行くから、お前もCS申告するんだっコラー」
「(ヤスの行動順) オレの行動だっコラー ムーブアクションでキャストたちに接敵して、マイナーアクションはアサルトナブスを起動してダメージを+2するんだっコラー。そしてメジャーアクションで〈白兵〉でなぐんだっコラー クラブ以外のカードなら成功するんだっコラー」
「(続き) スペードのカードなら〈死点撃ち〉を組み合わせでダメージ種別が「X」になるんだっコラー 防御力でダメージ減らないから注意するんだっコラー」
「(続き) ハードのカードなら〈鉄砲玉〉を組み合わせでダメージが4点増えるんだっコラー」
「(相手の行動への対応) スペードかクラブのカードなら〈回避〉でドッジをするんだっコラー」
「(続き) ダイヤのカードなら、1カットに1回まで〈白兵〉〈自動防御〉の組み合わせで【AR】を減らさず、【AR】が0でもバリーができるんだっコラー」
「(続き) バリーの場合はヨー 成功するだけで武器の「受」の数字だけ、オレの場合は旋風棍の3点分ダメージを減らせるんだっコラー」
「俺の《不可知》は判定すっけどキャストにリアクションの機会はないんだっコラー。スペードのカードで〈白兵〉〈死点撃ち〉して致命的ダメージを狙うんだっコラー」

行動の指針（平文）

セットアップ：特になし
ムーブ：基本的にキャストとエンゲージするように動く
マイナー：アサルトナブスを起動。ダメージに+2
メジャー：スペードの札があれば【理性】で〈白兵〉〈死点撃ち〉、ダメージは[X+5]となる
ハートの札があれば【生命】で〈白兵〉〈鉄砲玉〉、ダメージは[I+9]となる
リアクション：【理性】【感情】【生命】で〈回避〉を試みる。
または【外界】で〈白兵〉〈自動防御〉でバリーを試みる。対決に負けても旋風棍で受けて[受：3]となる
その他：《不可知》は相手に確実にダメージを通し、キャストに防御系神業を使用させるように攻撃する。《白兵》《死点撃ち》で攻撃して防御力を無視し、10、11、15、16の戦闘不能になるダメージを狙うようにする

●“ 電脳使いの ” デー

ニューロ ◎●、カゼ、カブトワリ

▼設定

「ぼ、僕の手にかかればこんなセキュリティなんてオモチャなんだな」

ピザとポテトチップスを好み、太った体系の典型的なおたくタイプのニュー力はそれなりにあるが、真面目な労働に対する意欲に欠けるところがあり、“チュートリアル”の“ヤスと組んで盗んだタップやポケットロンから個人情報抜き取って売り捌き、分け前をもらって金を得ている。

▼神業

■ 電脳神 □ 脱出 □ とどめの一撃

▼能力値/制御値

理性：7 / 14 感情：3 / 12

生命：4 / 8 外界：7 / 14

▼戦闘データ

【CS】7 【AR】1

【防御力】S：1 / P：1 / I：2

▼一般技能

3♣♠♥♦ 電脳

2♣♠♥♦ ★ 射撃

▼スタイル技能

1♠♠♥♦ ガンフー (『TNX』p214)

1♠♣♥◇ ドミネート

(『TNX』p224)

2♠♠♥◇ 防壁構築 (『TNX』p224)

▼アウトフィット

・ヤオヨロズ24 電制：14 / 隠：10 / 1 (『TNX』p234)

安価な片手持ちのハンドガン

・アーマージャケット 電制：12 / 隠：12 / ±0 (『TNX』p238)

ジャケット風の防具。エラッタ適用済 (隠匿レート)

・グライド 電制：- / 隠：- / 0 (『TNX』p246)

一人乗りのエアボード (磁気と空気圧で浮上する)。戦闘中には特に使用しない

・ガイアデッキ 電制：15 / 隠：10 / -1 (『TNX』p244)

手帳サイズのタップ (主にハッキング用に使われる端末)

▼戦闘プラン

行動指針

「ぼ、僕はピストルで相手を〈射撃〉するんだな」

「ぼ、僕のムーブアクションはキャストからエンゲージを離して [近距離] になるように移動するんだな」

「でも、ダイヤのスイートで攻撃する場合は [至近距離] からでも〈射撃〉〈ガンフー〉で攻撃できるんだな」

「ぼ、僕のマイナーアクションはないんだな。メジャーアクションで〈射撃〉で相手を撃つんだな。スイートはスピードかダイヤを使うんだな」

「リ、リアクションは〈回避〉をハートで試みられるんだな。ゲストは無条件取得技能を省略されることが多いから、気をつけるんだな」

「ほ、他には〈電脳〉〈ドミネート〉でクラブのスイートで1カットに1回だけドッジができるんだな。〈防壁構築〉があるから、達成値は+2されるんだな」

「あ、あと、僕の神業の《とどめの一撃》は普通至近距離では使えないけど、オレは〈ガンフー〉を持ってるから、至近距離でも当てられるんだな」

「僕がグライドを持ってるのは《脱出》の演出用なんだな」

行動の指針 (平文)

セットアップ：特になし

ムーブ：基本的にキャストとエンゲージを離すように動く。【外界】で〈射撃〉〈ガンフー〉をするなら、距離は [至近距離] でもいい

マイナー：特になし

メジャー：スピードかダイヤの札があれば、【理性】または【外界】で〈射撃〉をする。ダメージは [P+3] となる

リアクション：【生命】で〈回避〉を試みる

または【感情】で〈電脳〉〈ドミネート〉でドッジを試みる。達成値は+2される。1カット1回まで可能

その他：《脱出》は防御系神業として使い、キャストの攻撃を回避するために使う

奥付

トーキョーN ◎VA THE AXLERATION

『ようこそトーキョーN ◎VAへ!』

制作：Riza (Twitter : @RizaSTAR)

シナリオゲストイラスト：キャラクターなんとかJ
パーツセット『少年少女』

更新履歴

2017/05/19 バージョン1

■ 本作品について

本作品は株式会社エンターブレインより刊行された『トーキョーN ◎VA THE AXLERATION』を取り扱った二次著作物 (シナリオデータ) です。

『トーキョーN ◎VA THE AXLERATION』は、有限会社ファーイースト・アミューズメント・リサーチの著作物です。

本書の内容はフィクションであり、実在する歴史上の人物、団体地名などとは一切関係がありません。